

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願い致します。

研究課題名	循環器疾患(急性冠症候群及び脳卒中)における受診行動、医療提供状況および地域差の実態とその改善に向けた研究
研究担当者	橋本市民病院 循環器内科 九鬼 新太郎
目的・概要	<p>脳卒中、急性冠症候群などの虚血性心疾患などの循環器病は日本における主要な死亡原因の1つであり、2021年人口動態統計(厚生労働省)では、死亡原因の第2位が心疾患、第4位が脳血管疾患であり、あわせて年間31万人以上が死亡している。</p> <p>「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(2019年12月施行)に基づく第2次循環器基本計画[1]では、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」及び「循環器病の研究推進」の3つの目標達成により、「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指している。</p> <p>和歌山県では心疾患の死亡率が全国と比較して高く、県内での同疾患発症時の受診行動の実態が未だ不明であることが課題となっている。一方で、全国に先駆けて2018年から県内全域に遠隔医療支援システムを構築し、医療関係者間コミュニケーションアプリJoinを導入している(脳卒中に保険適用あり)。同システムは2022年1月時点で日米独ほか累計30ヶ国、1,000医療機関で導入され、医療資源の不足・偏在の解消、医療レベル向上等に役立つといわれている。同県では循環器病実態調査事業として、代表的な循環器疾患である急性冠症候群及び脳卒中で県内対象病院に入院した患者及び医療従事者を対象に質問紙調査を実施する。</p> <p>本研究では、受託事業として共同研究機関が調査を行い、県と収集した調査データについて、同疾患に係る実態、受診行動や医療提供状況、患者・医療者の認識の乖離等を明らかにし、遠隔医療支援システムの活用を含む循環器疾患の受療に至る実態・課題等を分析する。そして、重症化予防に繋がる医療体制のあり方を検討することを目的とする。</p> <p>当院の当該研究への参加における立場は、共同研究施設となる。</p>
研究対象 実施機関 実施場所等	<p>対象: 県が指定する県内11病院に入院した循環器疾患(急性冠症候群及び脳卒中)患者でおよびその担当医療従事者(期間は令和5年9月1日～同年11月30日の3か月間)。</p> <p>除外基準: 主治医が不相当と判断するもの(病状が重症、診断が確定的でない等)、未成年者。</p> <p>研究機関等: 京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 研究担当者(今中雄一) 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田近衛町 Tel: 075-753-4454 / Fax: 075-753-4455 Email: heqm-office@umin.ac.jp 京都大学医学研究科総務企画課 研究推進掛 (Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p>
研究期間	2023年8月25日～2025年8月25日
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護等	共同研究機関で収集された調査データは無記名であり、個人情報を取り扱わず、機微情報を含まない。
備考	